

NIPPON SCOUT
JAMBOREE

NEWS

CHALLENGE!

Vol.5



心をつなぐ一日

昨日は、信仰奨励プログラムや友情ゲーム、ジャンボリー大集会が行われました。自然や命への感謝に思いを寄せ、宗教や文化の違いを越えて心を通わせた一日。全国、そして世界から集まった仲間たちが、一つの会場で笑顔を交わし、友情の輪をさらに広げました。

Together as One.

そなえよつねに
ボーイスカウト

様々な宗派に触れ価値観に共感

8月7日午前、場内各地でプログラム「信仰奨励の集い」が開催されました。会場には6つの宗教、16の宗派によるブースが展開され、スカウトたちは自由に見学や体験を行いました。

神道の会場では、普段あまり目にしない神事に対し、スカウトたちは真剣な眼差しで前で行われる儀式を見つめていました。最後には、全員で揃って二礼二拍手一礼を行い、静かに祈りを捧げました。

仏教の会場で自身の信仰と異なる宗派のブースを

訪問したスカウトは、お経や読経の仕方が異なっていることに興味を惹かれたと話していました。

キリスト教の会場では、海外スカウトの姿も多く見受けられ、日本のスカウトと海外スカウトが共通して同じ祈りを捧げる光景が広がりました。

異なる文化や信仰の形に直接触れることで、スカウトたちにとって互いの価値観に触れる貴重な機会となりました。



宗教区分	教宗派	開催場所
神道	神社本庁	こと座エリア
仏教	天台宗	アリーナ
	浄土真宗本願寺派	仏教全体での集いを行ったあと、アリーナ内で各教宗派毎の集いを行います。
	高野山真言宗	
	浄土宗	
	真宗大谷派	
	曹洞宗	
キリスト教	日本聖公会	はくちょう座エリア
	日本カトリック教会	わし座エリア
	末日聖徒イエス・キリスト教会	はくちょう座エリア
	日本基督教団	はくちょう座エリア
金光教	金光教	はくちょう座エリア
世界救世教	世界救世教	はくちょう座エリア
天理教	天理教	はくちょう座エリア



心をひとつに。 ONE JAMBO

昨日は、信仰奨励プログラムや友情ゲーム、そしてジャンボリー大集会が行われました。

自然や命への感謝に思いを寄せ、宗教や文化、地域の違いを越えて心を通わせたスカウトたち。

全国、そして世界から集まった仲間が一つの輪となり、ジャンボリーならではの友情と感動に包まれた一日となりました。

「そなえよつねに」で結ぶ絆！友情ゲームで広がる仲間の輪



参加スカウト同士の交流を深めることを目的とした「友情ゲーム」が開催されました。参加者には、「そ」「な」「え」「よ」「つ」「ね」「に」のいずれか一文字が書かれた用紙が一人一枚ずつ配られ、他のスカウトが持つ用紙と組み合わせて「そなえよつねに」という言葉を完成させます。派遣隊や所属県連盟の垣根を越えて声を掛け合うことで、新たな友情を築くことがねらい。

一番乗りのスカウトからは、「最高です」とゲームを楽しんだ感想が聞かれました。一方で、なかなか文字が揃わず、他の参加者を探す中では「裏切り」という言葉が飛び出す場面もあり、ゲームならではの盛り上がりを見せました。また、「友達もできて、筋肉もついて楽しい」「海外のスカウトと交流できて、新しい友達ができた」といった声もありました。文字がまだ揃っていないスカウトからも「楽しい」という声があり、ゲームを通して多くの参加者が交流を楽しんでいる様子。文字を完成させることだけが目的ではなく、新しく出会った仲間との交流そのものが、19NSJの「友情ゲーム」の大きな魅力となっています。



REE

メインイベント！ ジャンボリー大集会開催！

8月7日夜、広島県神石高原町のメイン会場アリーナにて、第19回日本スカウトジャンボリーのメインイベントである「ジャンボリー大集会」が開催されました。会場には全国、そして海外から集まった約6,000人のスカウトたちが一堂に会し、場内は熱気に包まれました。

この記念すべき集会には、秋篠宮ご夫妻の長男・悠仁さまが出席されました。悠仁さまは、公的な行事では初めてとなる「お言葉」を述べられました。お言葉の中で、まず令和8年熊本地震の被災者へのお見舞いを伝えられた上で、大会テーマ「挑戦～神石から未来への一歩～」に触れ、「より良い未来に向けて力強く歩みを進める機会になると思います」とスカウトたちにエールを送られました。さらに、ご自身も活動に参加する中で「多くのことを学びたい」と語られ、会場は温かな拍手に包まれました。



皇室と本大会の歩みには深い歴史があります。過去のジャンボリーでは、天皇陛下(当時の皇太子殿下)が会場を訪れ、スカウトと同じ会場にお泊まりになられたこともありました。悠仁さまに受け継がれたその温かな眼差しと交流の歴史は、スカウトにとって大きな誇りとなっています。

集会のラストには、広島出身のシンガーソングライター「HIPPIY」が登場。パワフルなライブパフォーマンスに合わせてスカウトたちは一斉にライトを振ったり、曲に合わせて踊ったりと、アリーナの熱気は最高潮に達しました。集会が終わった後も会場の盛り上がりは冷めず、6,000人の歓声が響き渡っていました。

第17回日本スカウトジャンボリーにご出席された天皇陛下(当時の皇太子殿下)







テント設営で深まった 悠仁さまとの仲間の絆

8月7日、広島県神石高原町で開催中の第19回日本スカウトジャンボリーに、秋篠宮ご夫妻の長男・悠仁さまが参加されました。悠仁さまは会場内でのテント設営や代表スカウトとの懇談を通し、スカウト達と交流されました。

特に注目を集めたのは、スカウトたちと共に汗を流したテント設営体験です。悠仁さまは、事前に練習をされていたという手慣れた様子でペグを打ち込み、周囲のスカウトからは「すごく上手」と驚きの声が上がりました。設営の合間には、「幼い頃から家の中にテントを張って、秘密基地のようにして遊ぶのが好きだった」といった意外な素顔を明かされる場面もありました。

交流の場では、非常にフランクな「仲間」としての姿が印象的でした。一緒にテントの設営を行うスカウトと自己紹介をする場面ではどのように呼べばいいか尋ねられると、悠仁さまは「悠仁と」と答えられました。仲間の名前やニックネームを何度も確認して覚え、親しげに名前を呼び合っていました。

完成したテントの中では、スカウトと共に寝転びながら「下が芝生だからふかふかですね」と笑顔を見せました。悠仁さまは自身で設営したテントで宿泊し、翌日はスカウトの仲間と朝食を作り、その後プログラムに参加されます。

スカウトと仲間として共に過ごされたこの時間は、大会テーマである『未来への一歩』を分かち合う大切なひとときとなりました。



スカウトたちと共にテントを設営する悠仁さま。

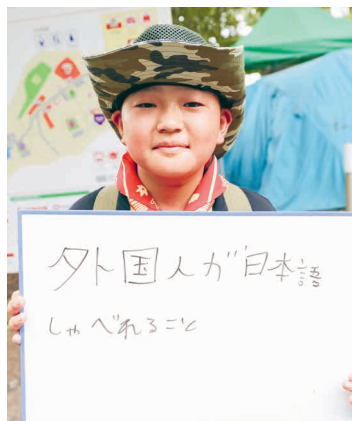
JAMBOREE VOICE

ボイス

ジャンボリーには、思わず「すごい!」と
声が出る瞬間がたくさんあります。
壮大な景色、仲間の挑戦、世界中のスカウトとの交流、
心を動かされた出来事…。
あなたが見つけた「すごい!」を教えてください。

ホワイトボードを
持った取材班を
見つけたら、
ぜひ参加を!!

今回のテーマ: 見つけた『すごい!』



明日取材の(8/9 発行予定)ボイステーマ『私のいちばん!』

BEHIND THE SCENES

ジャンボリーを支える 運営スタッフのお仕事

安全・警備部

会場の安全を守る「守護神」です。24時間体制で見回りや交通整理を行い、怪我や事故がないよう目を光らせています。みんなが安心してプログラムに集中できるのは、このチームが守ってくれているからです



楽しいキャンプを過ごすためには、怪我なく健康で過ごすことが一番大切です。みんなで楽しいキャンプを作りましょう!



安全・警備部長
田中 隆登さん



縁の下の力持ちのグループです。皆さんが楽しめるように頑張りますので目いっぱい楽しんでください

スタッフサービス部

大会を支えるスタッフたちが元気に活動できるよう、生活を支える「スタッフのためのスタッフ」です。仕事の割り振りや生活面のケアを行い、運営チーム全体のチームワークとやる気を裏側から支えています。



スタッフサービス部長
千田 拓也さん

SUB CAMP REPORT

サブキャンプを歩けば、そこにはスカウトたちのアイデアや工夫、笑顔がいっぱい。ゲートやサイトづくり、グッズ交換、仲間との交流など、会場の日常に隠れた「ジャンボリーらしさ」を見つけて紹介します。

大阪第7隊御神体!?

スカイラインサブキャンプを歩いていると、立派なゲートの下に不気味な黒い物体が鎮座していました。黒い物体の表面にはloveの文字と「御神体」の説明書き。前を通る人々は不思議な物体に興味津々で足を止めていました。その隊のスカウトたちに声をかけてみると、御神体の正体は当日の朝に焦がしてしまったお米であること、鍋から綺麗に外すことができたため、御神体として飾ることにしたことを教えてくださいました。説明を受けてよく見てみると、確かに表面には粒状の突起がたくさんあります。取材中にも、御神体を凝視したスカウトが悲鳴をあげるという場面がありました。不慮の事故から生まれた大阪第7隊の御神体、スカイラインサブキャンプに立ち寄った際には、皆さんもぜひ見てみてください。



広がる絆！ワッペン交換でつながる仲間たち



きずなサブキャンプでは、京都第4隊のスカウトたちがサイトの門の下でワッペン交換を楽しんでいました。ジャンボリーならではの光景に、多くのスカウトが足を止め、笑顔で交流する姿が見られました。

話を聞いてみると、「野菜ジュースとかるじゃがをワッペンと交換できました!」とのこと。意外にも食べ物や飲み物は人気が高く、交換のきっかけになっているそうです。また、「隊の記念Tシャツをオーストラリア隊のものと交換できた!」と喜ぶスカウトや、「チーフが帽子に変わった」「小さなピンバッジが横浜のワッペンになった」と、わらしべ長者のように交換を重ねているスカウトもいました。「次の目標は海外派遣隊のチーフ!」と意気込んでおり、明日も時間があれば交換を続ける予定だそうです。

大会3日目を迎え、会場にはジャンボリーらしい活気があふれてきました。積極的に他隊のスカウトへ声をかけ、言葉を交わしながら交流する様子は、まさにジャンボリーならではの魅力です。きずなサブキャンプの前を通った際には、勇気を出して「交換しませんか?」と声をかけてみてはいかがでしょうか。そこから新しい出会いや思い出が生まれるかもしれません。

歓迎光臨！ようこそ台湾サイト

ネイチャーにある二つの台湾サイトでは、台湾の食文化と遊戯を体験することができます。各サイトにはブースが4個ほど設置されていました。

台湾の伝統的なお茶である烏梅茶(ウーメイチャ)やタピオカミルクティーなどの食文化体験、麻雀やピンボールなどのゲーム体験ができました。お茶の体験では実際に自分ですり鉢を用いて挽き、砂糖などの調味料も交えて、嗜むことができます。スカウトからは「甘くておいしい」「香りが良くて心が鎮まる」といった声が寄せられました。麻雀では簡単な絵合わせゲームを行っており、ピンゴした際は大喜びで拳をあげていました。英語でしゃべることに苦労していましたが、何とかコミュニケーションを図ろうと身振り手振りを用いて積極的に話していました。食や遊戯を通して異文化を知り、交流を深められたことでスカウトたちは笑顔を見せていました。



DISCOVER JINSEKIKOGEN

ジャンボリーの舞台・神石高原町には、豊かな自然やおいしい特産品、地域の人たちが大切に受け継いできた文化など、たくさんの魅力があります。このコーナーでは、毎号ひとつずつ神石高原の「宝もの」を紹介します。

ピオーネ

(ぶどう)

ジューシーで濃厚な果汁
ジャムやスイーツなども

大粒で濃い紫色が美しい高級ぶどう「ピオーネ」。冷涼な気候と日照時間に恵まれた神石高原町は、県内屈指のピオーネの生産地です。高い標高がもたらす寒暖差によって甘みが際立ち、ジューシーで濃厚な果汁が口いっぱいに広がります。種無しで食べやすいのも魅力のひとつ。そのまま食べる生果だけでなく、ピオーネを使ったジャムやスイーツなども親しまれています。8月のジャンボリー期間中はまさに収穫の旬! 甘く実った最高のピオーネに出会えます。



安全・警備部 からのお願い

折り返し地点、 心と体の「ブレーキ」を大切に。 みんなで乗り切る後半戦

ジャンボリーも後半に入り、体には自分が思う以上の疲労がたまっています。疲れは心をトゲトゲさせ、普段なら流せることにイライラしたり、特定の誰かを責めることで「いじめ」になってしまったり、仲間の間での衝突に繋がったりします。集中力が落ちてケガをするリスクも高まります。これを防ぐために、まずは「自分の心と体の声」を聴きましょう。しんどい時は「疲れた」と素直に口に出して大丈夫です。それは弱いことはありません。また、隊や班の仲間をよく観察してみてください。元気がなさそうな仲間がいたら、「少し休もうか」と声をかけ合いましょう。夜は早めに寝て、水分と栄養をしっかり取る。これだけでイライラは大幅に減せます。もし、自分や友達の落ち込みが戻らない時は、一人で抱え込まずにすぐにリーダーに頼ってください。

ハンドブックに記載されている安心ホットラインなら、誰にも知られることなく相談できます。私たちはいつでも皆さんの味方です。みんなで支え合い、最高の思い出を作って笑顔のジャンボリーにしましょう。



中央救護所 からのお知らせ

熱中症対策

適切かつ十分な水分摂取を心がけましょう。

熱中症の初期サイン

- めまいや顔のほてり
- 筋肉痛や筋肉のけいれん
- 体のだるさや吐き気
- 汗のかきかたがおかしい
- 体温が高い、皮膚の異常

ブユ被害

露出を避ける服装(特に足元)、防虫対策を徹底しましょう。

ブユの虫刺されの特徴

刺された直後は出血点は目立ちませんが、半日から1日後にかけて強い腫れと激しいかゆみが出現します。体質によっては水ぶくれや発熱を伴うこともあります。

ジャンボリー期間も折り返しとなり、野営生活に慣れてきたと思いますが、ちょっとした気のゆるみがケガや事故につながります。切り傷、打撲・捻挫など外傷も少しずつですが増加しています。注意しましょう。

令和8年熊本地震

被災地へ、私たちにできることを。

令和8年熊本地震の被災地を支援するため、第19回日本スカウトジャンボリーでは募金活動を実施します。地域プログラムでの街頭募金や会場内の募金箱を通じて、被災地へ支援を届けます。

韓国から届いた、友情と思いやり

19NSJに参加している韓国スカウト連盟ソウル北部連盟の皆さんから、令和8年熊本地震の被災者へ、心温まる手紙と詩を添えて6万円の義援金をいただきました。国境を越えて届けられた励ましと思いやりは、スカウトの友情と助け合いの精神をあらためて感じさせてくれました。

揺れた大地の上に立つ
あなたの心は

今日は少しだけ
泣いても大丈夫です。

明日にはきっと
また歩き出す力が
生まれてくるから。

2026年8月8日(土) 神石高原町の天気・気温

8/9(日)	8/10(月)	8/11(火)	8/12(水)	8/13(木)	8/14(金)
30	30	31	29	29	29
最高気温(°C)					
21	19	18	17	19	20
最低気温(°C)					

気象予報士
さんちゃん
のお天気メモ

日中の暑さに慣れてくると、朝晩はむしろ寒く感じるほどの神石高原の気候です。
この先、閉会式を終える頃には秋の虫も鳴き出しそうな気温が予想されています。
ただ、気になるのが、新たに発生した台風15号の動き。
来週の中頃に関東～東北太平洋側に上陸する可能性もあり、注意が必要です。

協賛企業

Platinum Sponsor



Gold Sponsor



Silver Sponsor



Bronze Sponsor



Official Supplier



株式会社ウェザーマップ／オタフクホールディングス株式会社／株式会社森岡商店

第19回日本スカウトジャンボリーは、2026年度日本万国博覧会記念基金の
助成事業として実施いたします

